

## 令和4年度 東区組織目標

組織名	東区	区長	石井 哲也
組織の目的・方向性	人口減少や少子高齢化への対応を最重要課題と捉え、「産業のまち東区」の特色や魅力を生かしながら、地域との協働による「まちづくり」「ひとづくり」を進め、人もまちも元気で心豊かに暮らせる持続可能な東区を目指します。		

## 東区組織目標

東区では、区ビジョンまちづくり計画で掲げた区の将来像の実現を目指して、これまで重点的に進めてきた「地域の力が活かされるまちづくり」、「魅力あふれるまちづくり」、「安心安全なまちづくり」、「支え合い助け合うまちづくり」、に向けた様々な取り組みを引き続き実施していきます。

この方針のもと、今年度は、次の4つの目標に重点的に取り組みます。

## 重点目標

- 1 地域コミュニティ協議会、区自治協議会をはじめ地元の企業や大学などと連携を深め、協働によるまちづくりを推進し、心地よく暮らしやすい地域づくりを進めるとともに、地域の魅力の創出や活用に取り組みます。  
東区の魅力発信と区民の誇りづくりのため、「産業のまち東区」のPR、歴史の普及啓発や文化の発信を進め、産学官連携プラットフォームの構築に向けて取り組みます。
- 2 地域と連携しながら区民のさらなる防災意識の向上を図ります。
- 3 高齢者が住み慣れた地域で孤立せず地域と関わりをもち、安心して生活できるように支援します。また、健康寿命延伸に向け、コミュニティ協議会と協働した介護予防事業を実施します。
- 4 子育ての不安感・孤立感を解消させ、地域で安心して子育てができるようにサポートを強化します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	4	達成数	4
取組結果	<p>1 東区公式Instagramで継続的に魅力や情報の発信をしたほか、区内の企業や新潟県立大学、新潟大学が参画する「NIIGATA 産業教育観光デザイン会議」を立ち上げ、オープンファクトリーの開催に向けた検討を進めました。また、大学生を対象に東区内の企業等を巡るバスツアーを実施し、「産業のまち東区」に対する理解を深めました。</p> <p>2 5コミュニティ協議会の13避難所を対象に、避難所運営にかかるシミュレーションを体験するワークショップを開催し、防災意識の向上に努めました。</p> <p>3 民生委員協力のもと、高齢者への見守り訪問により個々の状況を把握し、必要なサービスにつなげることで、地域で孤立せず安心して暮らせるよう支援したほか、コミュニティ協議会との協働による介護予防講座を実施し、健康寿命の延伸に取り組みました。また、東区社会福祉協議会と協力し情報交換の場を設け、地域での支え合いの仕組みづくりを推進しました。</p> <p>4 引き続き「い～てらす」や「わいわいひろば」での子育て支援講座を通じて、子育て世代同士の交流を促進しながら育児の不安感や孤独感の解消に努めました。また、新たに男性の育児参加を促す情報交換会を開催したほか、育児動画をウェブで公開し、手軽な情報入手機会を提供しました。</p>				
今後の方向性	<p>1 「ものづくり」と「ものづくりのまち」の魅力を伝えるオープンファクトリーの開催を支援し、区内外に多様な産業の魅力を発信するとともに、大学生が考案したアイデアについては、「NIIGATA 産業教育観光デザイン会議」で検討するなど、今後の取組みに活かしていきます。</p> <p>2 避難所運営ワークショップは、東区内全ての避難所を対象に実施するため、令和5年度は2コミュニティ協議会の6避難所を対象に実施します。また、今後の地域の防災訓練に避難所運営シミュレーションの取り組みを取り入れられるよう、引き続き支援します。また、若い世代を中心に関心を寄せてもらうため、「東区防災・安全安心フェスタ」を開催します。</p> <p>3 高齢者見守り訪問を引き続き実施するほか、「地域包括ケアシステム構築」に向けて地域の実情に応じた新たなしくみづくりを構築できるよう支援していきます。また、コミュニティ協議会との協働による健康づくり及び介護予防に継続して取り組みます。</p> <p>4 引き続き子育て支援講座を開催するなど、親同士の交流を促進しながら育児の不安感や孤独感の解消に向け取り組むとともに、妊娠期から父母双方に育児知識を得てもらい、知らないことによる虐待リスクの減少と出産後の不安感・孤立感を解消します。</p>				

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-250-2110

年度	令和4年度		
組織名(部)	東区役所	組織名(準部・課・機関名)	地域課
組織の目的	地域のコミュニティ活動を支援し、区民との協働によるまちづくりを進めます。また、東区の活性化に向けて地域課題の解決に取組むとともに区内の産業、文化、スポーツ等の振興に努めます。		

作成日	R4.4.1
修正日	
評価日	R5.3.31

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標			R4結果	補足・参考指標
1	1	地域コミュニティ協議会、区自治協議会をはじめ地元の企業や大学などと連携を深め、協働によるまちづくりを推進し、心地よく暮らしやすい地域づくりを進めるとともに、地域の魅力の創出や活用に取り組みます。 東区の魅力発信と区民の誇りづくりのため、「産業のまち東区」のPR、歴史の普及啓発や文化の発信を進め、産学官連携プラットフォームの構築に向けて取り組みます。	・Instagramや動画など、さまざまなメディアを活用した情報発信を強化	公式インスタグラムの投稿回数				40回	42回		フォトコンテンツの応募作品や、イベントの紹介、イベントの概要などを継続的に発信しました。	達成
			・産学官連携プラットフォームの構築に向けた意見交換	(仮称)産業教育観光デザイン会議による検討				(仮称)産業教育観光デザイン会議の立ち上げ・検討	産業教育観光デザイン会議の立ち上げ・検討		東区内の企業や新潟県立大学、新潟大学が参画する「NIGATA産業教育観光デザイン会議」を10月に立ち上げました。また、オープンファクトリーの開催に向けた検討を進めました。	達成
			・区内企業、新潟県立大学等と連携し県立大生等を対象とした区内企業見学バスツアーの開催	「産業のまち東区」としての理解度が深まった割合				80.0%以上	100%	・参加者に対するアンケートを実施	6月6日に新潟県立大学生18人、新潟大学生8人の計26人が参加し、東区内の企業等を巡るバスツアーを実施しました。「産業のまち東区」に対する理解について、参加者26人中21人が「深かった」、5人が「やや深かった」と回答し、あわせて100%でした。	達成
2		区バスをはじめとする区内の公共交通について更なる利用促進を図るとともに、地域の移動ニーズに対応した持続可能な移動方法を検討していきます。	・区バスの利用促進 ・地域の移動ニーズに対応した交通手段の検討	区バス年間利用者数(人)	・河渡ルート 49,801人 ・松崎ルート 53,036人	・河渡ルート 41,135人 ・松崎ルート 40,559人	・河渡ルート 45,180人 ・松崎ルート 42,490人	・河渡ルート 43,000人 ・松崎ルート 42,000人	・河渡ルート 45,735人 ・松崎ルート 43,663人	・「東区生活交通改善プラン」に基づき設定	・区バスの利用促進を図るため、区だより等による周知のほか、イオン新潟東店において「e区バス」システムや区バスのチラシ配布を行いました。河渡ルート及び松崎ルートともに目標を上回る実績となりました。	達成
3		地域の力が発揮できるまちを目指し、住民自治推進の核となるコミュニティ協議会の活動活性化の促進を支援し、区民と行政の協働によるまちづくりに努めます。	・コミュニティ協議会への支援	コミュニティ協議会への訪問相談の実施(回数)	-	12回	12回(書面)	12回	12回	・東区内12コミ協全てに各1回は訪問	・東区全コミ協に対して、補助金の事務取扱いを中心とした個別訪問による指導を実施し、コミ協活動が円滑に進められるよう支援しました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>東区の魅力発信と区民の誇りづくりのため、コロナ禍においても「産業のまち東区」をいつでも誰でも楽しめるように、公式Instagramや動画を活用し継続的に情報を発信します。また、地域コミュニティ協議会、区自治協議会をはじめ地元の企業や新潟県立大学などの連携を進め協働によるまちづくりを推進するとともに、産学官連携プラットフォームの構築に向けて取り組みます。また、地元の企業と新潟県立大学との連携を進める中で、新潟県立大学生を対象としたバスツアーを開催し、東区の魅力を感じてもらおうとともに、「産業のまち東区」への理解が深まるよう努めます。</p> <p>コロナ禍においても、安心・安全な公共交通の運行に努めるとともに、広く区民へ周知を行いながら利用促進につなげます。地域の核となるコミュニティ協議会に向けて、地域コミュニティ協議会運営助成金、地域活動補助金の各制度に対する理解を深めてもらうため、訪問相談を実施することで、当該団体の活動活性化の促進を支援し、地域の力が発揮できるまちづくりを目指します。</p>	<p>東区の魅力発信と区民の誇りづくりのため、フォトコンテンツの応募作品をInstagramで発信したほか、マイクロツーリズムの推進のため、工場夜景バスツアーや産業のまち東区等を紹介する動画を作成しました。作成した動画は、今後、新潟シティチャンネルへの登録やR5実施予定の「オープンファクトリー」での活用のほか、区内高校と連携した総合的な探求の時間での活用を進めながら東区の魅力発信に努めます。</p> <p>産学官が連携し、産業のまち東区の魅力を発信していくため、「NIGATA産業観光デザイン会議」を立ち上げ、オープンファクトリー開催に向けた検討を進めました。</p> <p>産業のまち東区に関して、若い世代の理解を深めるため、新潟県立大学及び新潟大学の授業と連携し、大学生向けの工場夜景バスツアーを実施しました。大学の授業の中で学生が考案したアイデアは、次年度以降の取組みに活かしていきます。</p> <p>区バスの利用促進については、コロナ禍以前の利用者数には達していませんが、徐々に回復してきており、また区バス情報をお知らせするデジタルサイネージの設置等にも取り組むことで、目標を達成することができました。今後はR5年度改定予定の「東区生活交通改善プラン」を踏まえサービスの維持・向上に努めていきます。</p> <p>コミュニティ協議会への支援については、令和3年度はコロナ禍により書面での開催としていた訪問相談を今年度は対面で実施することができました。今後も、地域の核となるコミュニティ協議会の活性化に繋がる支援を継続して実施していきます。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-250-2710

年度	令和4年度		
組織名(部)	東区役所	組織名(準部・課・機関名)	総務課
組織の目的	区民や地域の団体との連携により、区民が安心して安全に暮らせるまちづくりを推進します。 また、職員研修等を通じて市民満足度の向上を図るとともに、様々な施設や商業テナントが入る区役所としてにぎわいを創出し、区民から親しんでいただけるような事業を展開していきます。		

作成日	R4.4.1
修正日	
評価日	R5.3.31

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標							目標達成状況	評価
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果	補足・参考指標		
1	2	地域と連携しながら区民のさらなる防災意識の向上を図ります。	避難所運営ワークショップの開催 ・避難所運営にかかるシミュレーションとフォローアップ	避難所運営ワークショップの開催 (R3～5年度の3か年で全避難所で実施予定)	-	-	4コミ協 9避難所	5コミ協 13避難所	5コミ協 13避難所	・区ビジョンまちづくり計画(第4次実施計画)	避難所運営ワークショップを12月に実施し、おおむね好評だった。 令和5年度は2コミ協、6避難所を対象に実施予定。	達成
2		区職員の研修により、市民の皆さまから満足していただけるよう、サービスの質を高めていきます。	・区独自の職員研修の実施	異動者研修 メンタルヘルス研修 救命講習 接遇研修等の実施	異動1回 メンタル1回 救命1回 クレーム対応研修1回 交通安全研修1回	異動1回 メンタル1回 救命1回 クレーム対応研修1回 交通安全研修1回	異動1回 メンタル1回 救命1回 クレーム対応研修2回	区独自研修 5回 (異動、メンタル、救命、サービス向上研修を予定)	異動1回 メンタル1回 救命1回 クレーム対応研修1回 交通安全研修1回	・区ビジョンまちづくり計画(第4次実施計画)	座学形式のほか、研修動画を職員の任意タイミングで視聴する方法で、予定どおり区独自の職員研修を実施することができた。	達成
3		東区役所での「にぎわい」の創出を促進します。	・南口エントランスホール活用事業	南口エントランスホールの活用日数(有償貸付のみ。市事業紹介パネル展示を除く)	131	104	76	100	78	・区ビジョンまちづくり計画(第4次実施計画) ・物販、イベント等の活用日数	新型コロナウイルスワクチン接種会場としての稼働日が、当初想定していた44日間を大きく上回り120日間実施したため、会場使用に制限がかかり目標達成には至らなかった。	一部未達成
4												
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら以下の事業に取り組めます。 地域防災力の向上のため、「避難所運営ワークショップ」を開催します。避難所の設置運営を実際に模擬訓練で行うことにより、非常時にやるべきことを具体的に体験し、理解を深めます。令和3年度から令和5年度の3か年で東区全28避難所を対象に実施します。 また、人材育成の面では、区独自の職員研修を実施し、市民に満足されるサービスを提供できる職員を育成します。 さらに、区役所における賑わいづくりとして南口エントランスホールの活用事業を引き続き実施し、地域の多様な活動の場を提供するとともに、多くの方に利用していただけるよう周知を図ります。	避難所運営ワークショップを12月3～4日に開催し、参加者からは今後の地域の防災訓練や避難所運営の参考になると好評でした。参加者の8割が今後の地域の防災訓練に避難所運営シミュレーションの取り組みを取り入れたいと回答し、今後この取り組みが地域で継続されるよう、引き続き支援します。避難所運営ワークショップは、令和3年度から3年間で東区内全ての避難所を対象に実施する予定で、令和5年度は2コミ協、6避難所を対象に実施します。 また、区独自の職員研修を予定どおり実施し、窓口対応等におけるサービスの質の向上に繋げることができました。 南口エントランスホールでは引き続き年間を通してワクチン接種会場として利用されたことから、活用事業の場としての利用日数に制限が生じましたが、新規事業者による出店が行われるなど様々な方からの利用して頂くことができました。今後も状況に応じ賑わいづくりができるよう努めていきます。

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-250-2380

年度	令和4年度		
組織名(部)	東区役所	組織名(準部・課・機関名)	健康福祉課
組織の目的	地域の人々とのふれあいや支え合いのなかで、健康で安心して暮らし続けられるまちづくりを目指し、区民、団体、事業者、区社会福祉協議会など、地域全体と協働で地域福祉の推進に取り組みます。		

作成日	R4.4.1
修正日	
評価日	R5.3.31

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						補足・参考指標	目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果				
1	3	高齢者が住み慣れた地域で孤立せず地域と関わりをもち、安心して生活できるように支援します。また、健康寿命延伸に向け、コミュニティ協議会と協働した介護予防事業を実施します。	・高齢者の生活実態把握とニーズ調査の実施 ・支え合いのしくみづくりの深化 ・介護予防事業の開催	東区全域での高齢者世帯への訪問調査の実施	対象全世帯への訪問	対象全世帯への訪問	対象全世帯への訪問	対象全世帯への訪問	対象全世帯への訪問	対象全世帯への訪問	・訪問対象世帯 75歳以上で介護認定を受けていない、一人暮らしを含む高齢者のみの世帯 ・特色ある区づくり事業 ・区ビジョンまちづくり計画(第4次実施計画) ・関係者へのアンケート実施	民生委員協力のもと、高齢者への見守り訪問により個々の状況を把握し、必要なサービスにつなげることで安心安全なまちづくりを推進しました。 今回からチェックリストを設定し、民生委員が統一した基準に基づき調査を実施し、2次訪問対象者を客観的に絞り込むことができたことで、より丁寧に調査・相談を行うことができました。 ・1次訪問実施(10～11月 7,507件)※民生委員 ・2次訪問実施(1～2月 58件)※包括支援センター ・介護サービスにつなげる等のフォロー(3月)	達成
				コミュニティ協議会との協働による健康づくり介護予防講座の実施(回)	-	6	11	8	8	・特色ある区づくり事業	社丹山コミ協は9～11月に3回(参加者延37人)、中野山コミ協は10～12月に3回(参加者延120人)実施しました。 また自主活動につながるよう、昨年度講座を実施した下山山コミ協1回、南中野山コミ協1回支援し、合計8回取り組みました。	達成	
				東区支え合いのしくみづくり会議情報交換会の開催(回)	3	4	3	4	5	・区ビジョンまちづくり計画(第4次実施計画)	社協と協力し下記の通り情報交換の場を設け、地域での支え合いの仕組みづくりを推進しました。 ・地域福祉推進フォーラム(5月) ・地域福祉座談会(9月～2月 12地区) ・1層協議体会議(11月) ・2層情報交換会(12月) ・1層協議体会議(3月)	達成	
2		地域の健康課題に応じた健康づくりを推進します。	・歯つびーすまいるプロジェクトの推進	こども食堂・認可保育園・認定こども園・幼稚園・放課後児童クラブにおける歯と食育の健康相談・健康教育の実施(回)		26	40	40	47	・特色ある区づくり事業 ・新潟市生涯歯科保健計画	・子ども食堂で17回(9か所)、保育園・認定こども園・幼稚園等で10回(10園)、放課後児童クラブで20回(20施設)実施しました。	達成	
3	4	子育ての不安感・孤立感を解消させ、地域で安心して子育てができるようにサポートを強化します。	・「マタニティ期からつながらず子育て支援事業」で取り組む事業を中心とした、「い〜てらす」及び「わいわいひろば」における子育て支援講座の開催	主な子育て支援講座の開催(回)	91	118	111	100	121	・特色のある区づくり事業 ・区ビジョンまちづくり計画(第3次実施計画) ・ウェブを活用した子育て支援講座や動画の配信	予定を上回る事業実施ができました。 ・新規事業として「プレママ・パパ情報交換会」を導入、男性の育児参加を促す事業を増やすことが出来ました。 ・育児動画「はじめての沐浴」「はじめての離乳食」を公開、手軽な情報入手機会を提供しました。	達成	
4		児童虐待に対地的確で迅速な対応と虐待を未然に防ぐために、関係機関と連携し虐待が起こる前にも情報共有を行います。	・児童虐待防止にかかわる関係機関との情報の共有化	区内小中学校への訪問(回)	69	77	71	60	77		3か月に一度の学校訪問を基本として、区内の小中学校を定期訪問し、児童虐待の早期発見に繋がる連携強化を図りました。	達成	
5		継続的に業務改善を実施し、効果的・効果的な市民サービスを行います。	・各係、各グループで、業務や窓口等における継続的な業務改善を実施します。	・改善実践報告の件数(件)	18	28	15	15	22	・各係、各グループ3件以上の取組	・継続的に効果的・効果的な業務や窓口改善に取り組み、区民目線での丁寧な対応を意識するとともに、市民サービスの向上に努めました。	達成	

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>超高齢社会が進展しているなか、住み慣れた地域でいつまでも元気で健康に暮らし続けられるよう、高齢者の生活実態把握とニーズ調査、支援に取り組みます。また、コミュニティ協議会との協働による健康づくり介護予防講座を行うとともに、引き続き地域の実情に応じた新たな仕組みづくりを開始できるよう、支え合いのしくみづくり推進員と連携を図りながら取り組んでいきます。</p> <p>東区の健康課題であるこどものむし歯の改善に向け、こども食堂における歯と食育の健康相談会の開催や、保育園・認定こども園・幼稚園・放課後児童クラブにおけるむし歯予防教室を開催します。</p> <p>「い〜てらす」や「わいわいひろば」での子育て支援事業により、子育て世代同士の交流を促進しながら育児の不安感や孤独感の解消に取り組めます。また、育児の悩みで多い「沐浴」や「離乳食」などに関する動画や子育て施設の情報配信、講座の参加に消極的な方にも情報を届け、相談に繋がります。環境づくりを進めます。児童虐待の発生予防・早期発見・早期対応のため学校や保育園などとの連携強化をより深めます。</p>	<p>高齢者の生活実態把握とニーズ調査は、対象の全世帯への訪問を実施し、状況に応じて適切なサービスへ繋げることができました。</p> <p>健康寿命延伸のためコミュニティ協議会と協働し、介護予防講座を開催しました。また、昨年度開催したコミュニティ協議会に自主活動の支援を行いました。</p> <p>地域での支え合いの仕組みづくりを推進するため、区社協と協力し情報交換会を開催し、現状と課題を共有するとともに地域特性を考慮した対応を検討しました。</p> <p>子どものむし歯の改善に向け、子ども食堂、保育園・認定こども園・幼稚園、放課後クラブと連携し、歯と食育の健康相談やむし歯予防教室を実施しました。今後も関係機関と連携し、むし歯予防の取り組みを継続します。</p> <p>「い〜てらす」や「わいわいひろば」での子育て支援事業により、子育て世代同士の交流を促進し、育児の不安感や孤独感の解消に務めました。また、パートナーも参加しやすい休日の講座を開催、男性の育児参加を促しました。</p> <p>区内の小中学校・保育園などを定期訪問、要保護児童対策地域協議会やこども家庭総合支援拠点の存在と役割を周知徹底することで、児童虐待の発生予防・早期対応に繋がりました。</p>